

白馬三山縦走記録



丸山から白馬岳を望む (上)白馬山荘、(下)村営頂上宿舎とテント場

期 間 : 2011年8月9日(火)～13日(土)

北アルプス: 白馬岳・杓子岳・鑓ヶ岳

メンバー: L田邊 浩二(記録)、原 和雄

コースタイム:

- 8月 9日(火) 晴 北久里浜 5:02(京急)原さん乗車～金沢文庫 5:18(田邊)～
横浜 5:33 JRに乗換 5:39～東京 6:09 あさま 501号 6:24～長野 8:05 バス 8:20 発～栂池高原
9:50 着、ゴンドラ・ロープウェイ乗継、栂池自然園 10:40 昼食 出発 11:40～13:25 天狗原
13:30～13:40 風吹分岐通過～14:30 雪渓～15:30 乗鞍岳頂上～16:30 白馬大池山荘着(泊)
- 8月10日(水) 晴 起床 4:15 朝食 5:15 山荘出発 6:30～8:10 船越ノ頭～10:00 小蓮
華山 10:10～11:20 三国境(昼食) 12:20～13:25 白馬岳頂上 13:40～13:55 白馬山荘着(泊)
- 8月11日(木) 夜中より強風霧雨 朝も強風霧雨のち嵐 起床 4:15 朝食 5:10 山荘
出発 6:30～8:30 杓子岳の登りで引返す。～10:00 村営頂上宿舎(泊)
- 8月12日(金) 晴 起床 4:30 朝食 5:15 村営頂上宿舎出発 6:00～7:40 杓子岳をトラ
バース後の鞍部 7:45～9:13 鑓ヶ岳頂上 9:20～9:50 鑓温泉分岐 10:00～1049 大出原 11:00～
13:40 鑓温泉小屋(泊)
- 8月13日(土) 晴のち曇り 起床 4:30 朝食 5:10 小屋出発 6:30～8:02 杓子沢出会い
～9:50 小日向の科尔～12:25 猿倉着 タクシーにて小日向の湯 12:40～13:40(露天風呂)入浴
バス 13:45～13:55 白馬駅着 あずさ26号 14:38～18:03 八王子 18:10～19:10 横浜乗換
19:10～19:30 金沢文庫～19:46 北久里浜着

記 録：

8月9日（火） 晴

原さんと京急横浜駅で合流、JRに乗換東京へ、6:09着・あさま501号6:24発 指定席を取ろうとしたら満席でした。仕方がなく自由席にと原さんとホームに上がった前の一組いるだけで、余裕で座ることが出来た。大宮でほぼ満員、通勤客が指定席を取っていたのだと後で分かった。 長野8:05着・バス8:20発、時間があるのでコンビニでにぎり飯とお茶でもと探したが見当たらずそのままバスに乗る。定刻に出発、9:50 栂池高原に着く。



栂池自然園入口 栂池ヒュッテ



チングルマ

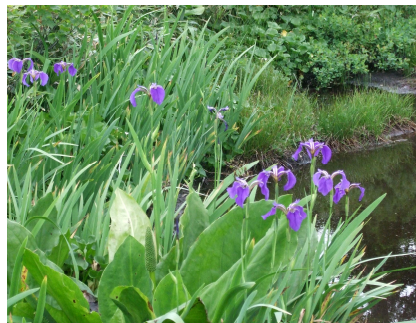


コイワカガミ

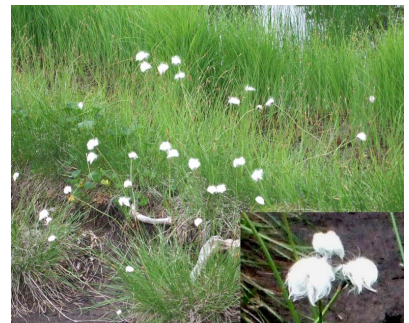
ゴンドラに乗る前に登山計画書を提出する所があり、そこに計画書を提出した。ここでも弁当を探したが売切れていた。

ゴンドラ・ロープウェイを継ぎ栂池自然園 10:40 に着く。いよいよここからが、二本足での登りが始まる。早めの昼

食とする、(ロープウェイを降りた所で最後に残った一つの弁当を原さんが買った。)おにぎり二つを分けて頂いた。 11:20 出発すぐに急斜面の登りにかかる、クマザサの斜面にはダケカンバが目立つが景色を見る余裕がない。



ヒオウギアヤメ



ワタスゲ

最初のワンピッチ30分で小休止・30分ワンピッチのペースで四ピッチで天狗原に着いた。この間

花があれば写真をパチパチ、原さんが何の花でも



天狗原の木道にて 原と田邊



乗鞍岳直下の雪渓



ヒメシャジン



ミヤマキンポウゲ

写しておけと言われたので原さんと位置を変えて写す。天狗原までに写した花・チングルマ・コイワカガミ・天狗原ではヒオウギアヤメやワタスゲが沢山咲いていた。天狗原 13:30 白馬三山

の眺めが素晴らしいのだと原さんが言っていたが、ガス

の中で見えず残念だった。

天狗原の木道を通り抜けると風吹分岐、乗鞍岳へは岩だらけのゴーロ状の急斜面になり、あえぎながら登る、巨岩がゴロゴロした所には赤ペンキでルートが目印がしてあり分かり易い。乗鞍岳直下に雪渓が30m程あったが滑る事もなく慎重に登る。頂上 15:30 頂上で最後の水を二人



乗鞍岳(2436.7m)にて田邊



白馬大池と山荘

で飲む、頂上を過ぎると眼下に白馬大池と山荘が夕日に照らされ素晴らしい眺めだった。ガスもあがり高曇りの間から雪倉岳を右側に見て白馬大池に向かってゴーロ状の歩きにくい登山道を浮き岩に注意しながら下る。ヒメシャジンやミヤマキンポウゲの花を眺めたり、カメラに写したりした。頂上から大池山荘まで二ピッチ・一時間、飲み水が切れてしまった。白馬大池には飲みきれない程の水があるのに・・・大池沿いをひたすら山荘を目指して下っていった。

白馬大池山荘 16:30 着 夕食 17:20 就寝 20:00 白馬大池山荘は三階二段ベット上四人

8月10日(水) 晴

大池山荘出発 6:30 山荘を出ると快晴に近い青空で今日の行程が楽しくなった。

目の前のカラフルなテント場も半分は撤収して行動に移っていた。テント場を左に見ながら稜線を目指して緩い登りをワンピッチ。チングルマ・イワイチョウ・ハクサンコザクラなどが登山道の両側に咲き乱れカメラに写すのが忙しく足は自然と遅くなる。

稜線に出ると右から雪倉岳・鉢ヶ岳、行く手の小華山・白馬岳が朝日に輝き頑張ると元気がわいて来た。



白馬大池山荘前のテント場



イワイチョウ



ハクサンコザクラ

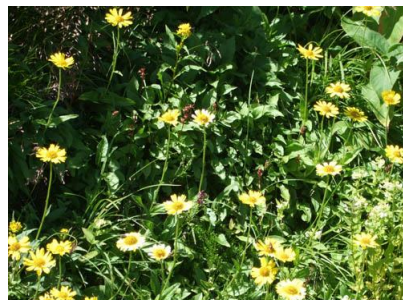
雷鳥坂のハイマツ帯に雷鳥がこちらを見ながら散歩していた。船越ノ頭 8:10・30分ワンピッチを快調！ 花の写真をパチパチ・タカネナデシコ・ミヤマアズマギク・ウサギギクなど、すばらしい眺めを楽しみながらゆっくりと小連華山を目指して行



タカネナデシコ



ミヤマアズマギク



ウサギギク



(左)鉢ヶ岳 (右)雪倉岳

く。10:00 山頂、頂上に鉄剣が祀られていた。二人の写真を写して貰ってすぐに三国境に向かう。白ザレの緩い斜面を登り降りしながら最後にちょっと登って三国境に着く。11:20 ここから白馬岳山頂まで一時間ちょっと、ここで早い昼食として大休止(余裕の行動) ガスコンロを点火しようとしたが圧電点火せず他パーティにライターを借りて点火した。事前にテストしていなかった。失敗、大きな反省点だ。ポタージュスープとコーヒーをゆっくりと飲み、周りの景色を堪能した。12:20(一時間休憩) 出発、腹ごしらえは充分で元気百倍。すぐに急な登りにかかる。イワギキョウ・アキノキリンソウな

どきれいな花を見ながら快調に高度を上げる、やせた岩場をこえて弓状にのびた稜線を行くと先は白馬岳頂上だった。2,932m・13:25 二人で頂上に立った。疲れてはいたが感激だった。晴れていれば見晴らしは素晴らしいと原さんが言っていたがガスが湧き上がってきて遠くは見渡せな



小連華(2766m)山頂にて



三 国 境



イワギキョウ

えてくれたが、明日の行程でも発見出来る
と思ひ見に行かなかった。

白馬山荘は二号館三階二人区切りの部屋

夕食 17:00 就寝 19:30



アキノキリンソウ

かった。写真撮影後
13:40 眼下の白馬山荘
に向かって下る。

13:55 山荘に着く 15分
で着いてしまった。頂
上で写真を撮ってくれ
た登山者が道より少し
離れた場所にコマクサ
が移植されてであると教



白馬岳頂上にて

8月11日 (木) 夜中より強風霧雨 朝も強風霧雨のち嵐



8/11 朝 白馬山荘

山荘出発 6:30 強風霧雨の中、雨具を着
用して山荘を出発。風が治まってくれば
と予定通り行くことにした。丸山 7:00 丸山を
下り最低鞍部から杓子岳を登り始めたら
先行パーティが三組ほど引き返して来た。強
風と雨・瞬間風速だと歩けずストックで支え
て居るようでこれ以上は危険と原さんと相談
して引き返すことにする。8:30 引返す。

10:00 村営頂上宿舎に着く。白馬山荘より2
0分ほど近く翌日の行程が少し楽になるので、
ここに泊ることにした。他のパーティも同じ
考えだった。終日小屋の談話室で原さんは他パ
ーティと山談議。田邊は漫画を読んだり昼寝を

していた。 昼食はレストランで私はてんぷらそば、原さんはラーメン 夕食 17:00 就寝
19:00

部屋は16人部屋、上下で他パーティ2人と4人でゆったりと寝ることが出来た。



剣岳(右)・立山連峰

8月12日 (金) 晴

出発 6:00 小屋の裏からテント場を通過して稜線に出る。天候は快晴に近く右手の遙か遠くに剣岳・立山連峰が見えた。早朝の稜線は寒い位で雨具の上衣を着た。原さんもウインドブレーカーを着た。丸山まで30分、快調に足が進む。丸山から振り返り白馬岳を見渡す、村営小屋とテント場・白馬山荘と山頂・素晴らしい眺めだ。行く手を見れば杓子岳から鑓ヶ岳が、朝日に輝いて、今日の行程が楽しく元気が湧いて来た。杓子岳の鞍部までワンピッチ、途中コイワカガ

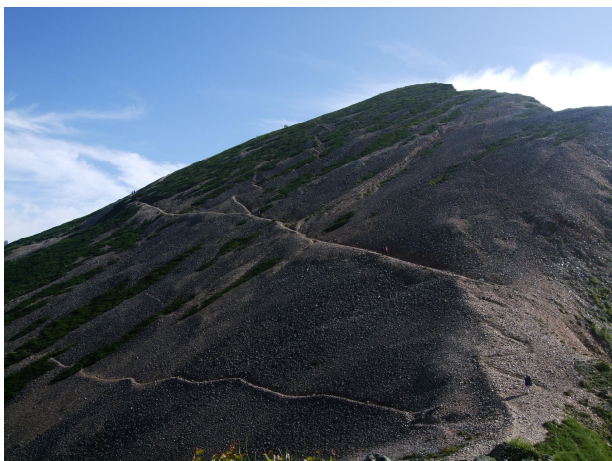


白馬岳と主稜 遠方 小蓮華山



杓子岳(左)と白馬鑓ヶ岳

ミヤチングルマの穂などをカメラにとり順調に登る。杓子岳山頂は見送りトラバースルートを選び、杓子沢のコルで小休止。7:45 ここから鑓ヶ岳の頂上までキツイ登りが待っている。元気を出してゆっくりと足を進める。ちょっと足を止めては上を見てがんばるぞと口の中で言いキツイ登りを一歩ずつ足を運ぶ。今日のハイライトの登りである。途中タカネツメクサの花や遠く剣岳を眺め疲、れを癒しがんばった。



杓子岳頂上とトラバースルート



白馬鑓ヶ岳



鑪の頂上からの白馬岳



鑪の頂上から鹿島槍ヶ岳(左)槍・穂高(遠方)



タカネツメクサ



ハクサンコザクラ



チングルマの穂

鑪ヶ岳の頂上 9:13 写真を撮ったりして 9:20 鑪温泉分岐に向かって一気に下る。分岐 9:50・10:00 大出原に向かってガレ場の急斜面をジクザクに下る。少し残った雪田まで下るとハクサンコザクラやツガザクラなどの群落に出会う見応えのある景色だ。このあたり一体を大出原と言うそうだ。10:49~11:00 花の写真をパチパチ、チングルマの穂・ハクサンコザクラ・ミヤマキンポウゲ・チングルマなど、十分満足のいく景色を楽しませてくれ疲れを吹飛ばしてくれた。鑪温泉小屋までの最後の難関クサリ場が待ち受けていた。 灌木帯をジクザクに下るとクサリ場に出た、クサリは頑丈に固定されていたが、スリップしそうな傾斜のきつい露岩で原さんと間隔をあけて注意して下降した。20m 位はあったかと思われる。クサリ場を過ぎて右側の雪渓を見て降って行くと遥か下に鑪温泉小屋が見えて来た元気を出して小屋を目指す。13:40 小屋に着く。泊まる手続きをして大休止。 15:00 露天風呂にゆっくりとつかり 4 日間の汗と疲れを癒した。16:00 夕食、食事を済ませた後、原さんと昨日停滞していた小屋での仲間と再会し山談議にふける。 就寝 18:50 一号館 二段ベット上 4 人室



鑪温泉分岐点にて



鑪温泉小屋

8月13日（土）晴のち曇り

朝風呂に入り目覚めさせて最後の一日のがんばりの英気を養う。小屋出発 6:20 テント場を通過して藪の中の道を下り小日向のコルを目指す。鑓沢・杓子沢の雪渓は少なくアイゼンは不要だった。杓子沢出合 8:02 小日向のコルまでは山腹をトラバース気味に登り降りを繰り返しながら下って行った。コルへはちょっとした急な登りがあり視界が開けた所がコルだった。9:50 登山道では崩れた所が何ヶ



鑓温泉の露天風呂

所もあり滑らないよう慎重に通った。この道でも花は幾つか見かけた。クルマユリ・ウツボグサ・シモツケソウ・シャジン? など 小休止をしながら猿倉を目指す、ダケカンバなどの樹林帯を通り小さな沢で休憩、冷たい沢の水で英気を養い、後少しの行程をがんばる大雪渓への林道に出るとすぐ猿倉だった。12:25 着



小さく温泉小屋が見える(矢印)

12:20 にバスは発車していた。

他パーティと相乗りでタクシーで小日向の湯(露天風呂)にゆっくりと入り、5日間の垢を落した。13:45のバスに乗り白馬駅へ。13:55着 昼食 もりそば 帰路 あずさ 26号 14:38~18:03八王子18:10(横浜線)~19:05横浜乗換 19:10 京急 19:30 金沢文庫(田邊下車)~19:46 北久里浜(原さん下車) 白馬三山・夏山山行無事帰着



杓子沢の雪渓

反省

- 1) 第1日目 乗鞍岳より二人の飲み水が切れてしまった。天狗原の手前の水場で水の補給をしなかったこと。まだ補給の場所が雪渓にあると思った。
- 2) 第2日目 ガスコンロ点火で圧電点火が出来ず、ライター持参せず計画備品に記載せずだった。他パーティよりライターを貰う。事前に点火テストしておくこと。
- 3) 携帯電話 出発前に充電をして置いたので十分と思い、登山中電源を入れたまま行動した。4日目に日程が一日延びたので連絡しようとしたら電源切れになってしまった。

その他

- 1) ザックの重量が約9キロだった(二人共)。重量を抑えた方が縦走山行の時はピッチがあがるとのアドバイスが先輩からあった。
- 2) 食料・・・昼の行動食と嗜好品が若干多かった様だ。また小屋泊まりの時は小屋で弁当を頼める。今回の場合は、約千円で頼めた。
- 3) 山行記録の時間を記録した手帳を最後の温泉で着替えた後に紛失してしまった。カメラで写したものの記録に頼ってしまった。

以上

記 田邊 浩二



クルマユリ



シモツケソウ



アジサイ